



中央・総武緩行線におけるワンマン運転の実施 について提案を受ける！ 9月24日

今後、更なる生産年齢人口の減少やライフスタイル等の社会環境の急激な変化、技術革新の進展等に対応しながらお客さまが求める輸送サービスを提供していくため、安全の確保をベースとして、確立した技術等を導入し、以下のとおりワンマン運転を実施する。

1. 実施線区・区間

中央・総武緩行線 三鷹～千葉間 「東京地下鉄株式会社東西線に直通する列車の
 (西船橋～津田沼間・中野～三鷹間)を除く」

2. 対象車両

- (1) E231系500代
- (2) E235系0代

3. 実施内容

- (1) ドア扱いは、車載ホームモニタシステム(無線伝送式)を使用し、お客さまの乗降状態を確認後、ワンマンドアスイッチ(タッチパネル式)を操作する
- (2) お客さまへの案内は自動放送装置により行う。必要により、車内放送マイクで案内放送を行う
- (3) 非常通報装置が扱われ、お客さまとの通話対応ができない場合に、お客さまが指令室と連絡が取れる「指令客室間通話機能」と「指令室から列車内への放送機能」を導入する

4. 実施時期

2027年春

5. その他

- (1) 実施日・要員体制については、別途示す
- (2) ワンマン運転に向け、必要な準備等は実施する
- (3) その他の線区・区間についても、ワンマン運転の実施に向けて引き続き検討・準備を進めて行く

【提案時の議論の特徴点】

- (組合) プレス発表などで2030年実施となっていたが、時期が2027年春に早まった根拠は？
- (会社) 車両改造と設備が整った為この時期の導入となった。
- (組合) 対象となるE235系0代は山手線で現在使用している車両でいいか？
- (会社) 現在山手線で使用している車両の0番代を一部を改造して使用する。
- (組合) 車載ホームモニタシステムの操作方法はどのように扱うのか？
- (会社) 停止位置に到着すると運転情報画面からワンマンドアスイッチ画面に切り替わり、「開」→「設定」の2アクションでドアが開き、「閉」→「設定」の2アクションでドアが閉まる。「再開閉」は1アクションで動作する
- (組合) ワンマン運転は終日全列車が対象なのか？
- (会社) 全列車ワンマン(メトロ直通車は除く)で行う。必要な設備を整えて安全を確保しながら行う
- (組合) 具体的な実施日と車掌の要員についてはどうなるのか？
- (会社) 様々検討中である。基本は車掌の業務はなくなる。車掌は担務変更や異動となる予定である。実施日と要員体制については、今後、組合と議論時間はしっかり設ける
- (組合) 今後の訓練スケジュールはどうなるのか？
- (会社) 現車・机上・シミュレーターを使った訓練を検討している。営業列車で訓練をやるのも検討事項になっている
- (組合) 今後、社員説明を行い面談等でキャリアプランを把握していくのか？
- (会社) 面談等でキャリアプランを把握するため、施策について前広に示した。
- (組合) その他の線区・区間については具体的にどうなっているのか？
- (会社) アットカタログやプレス発表で示している通りである。